１月園だより

2025年1月4日
蒲田らびっと保育園
園長　押久保　聖子

新春のお慶びを申し上げます

2025年が始まりました。新しい年の始まりは、期待感でいっぱいになりますね。新しい一年がお子さまにとりまして、また保護者の皆様にとりまして笑顔があふれる年になりますようお祈り申し上げます。
『笑う門には福来る』のことわざのように、笑って福をたくさん呼び込みましょうね。今年もよろしくお願いいたします。
また、ゆり組さんは当園卒園の年となります。保育園でしかできない経験がまだまだたくさんありますので、幼児クラスになることを見据え、思う存分に園生活を楽しみながら一日一日を大切にお子さんと一緒にさまざまなことを感じ、考え、一人ひとりの成長をしっかりと見守りながら保育を行ってまいりたいと思います。
感染症が猛威を振るう季節でもありますので、ご家庭と連携を取り、体調の変化には十分気をつけていきたいと思います。

今月の行事

☆6日(月)…初詣
　　…身体測定
☆7日(火)…お正月遊び
☆8日（水）…かみしばい会
☆23日(木)…避難訓練

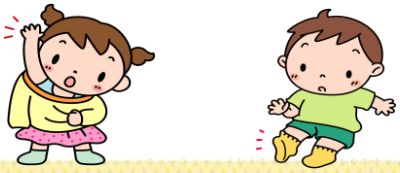
保育目標

もも組

① 保育士や友だちと一緒にお正月のあそびを楽しむ。
② 排泄前の不快感を伝えようとする。

ゆり組

① 冬の自然や季節の行事に親しみながら、身近な環境への興味を深める。
② 生活リズムを整え、健康に過ごす。



基本的生活習慣を身につけましょう

あいさつ、早寝早起き、食事などの『生活習慣』が３歳までに身についていると、そのあとの伸びしろが違ってくると言われています
人間の赤ちゃんは、まっさらな状態で生まれてきます。人間が生きていくためには大人の手助けが必要です。ですが、乳・幼児期は自我の芽生えもあり、「自分でやりたい」という意思をもつようになります。これは成長段階でとても大切なことです。育児書には〇歳頃がに〇〇ができるようになるのが目安等と書いてありますが、その年齢になったからできるわけではありません。積み重ねが大切です。何事もできるようになるために、少しずつ積み重ねていくことが大切です。「自分で！」という気持ちを尊重し、忙しい毎日の中で時間を取るのが難しいこともあるかもしれませんが、「練習も必要」とおおらかな気持ちで接しながら、できた時の跳びあがるような気持ちを想像して、積み重ねを楽しんでみてはいかがでしょうか。
～生活習慣を身につけるポイント～
☆大人がやっている姿を自然に見せる。☆子どもができることを大人が奪わない。
☆見通しを立てて同じ生活の流れにする。☆子どもの生活リズムに大人が合わせる。

おねがい

☆長袖Ｔシャツの袖は手首が出るように、ズボンの裾は床につかないように曲げていただくが、縫い上げていただくようお願いします。
袖が手の平にかかっていると、遊びを妨げます。また、転んだ際にうまく手をつけずに大きな怪我に繋がってしまうことがあります。ズボンの裾も同じように踏んでしまい、転倒を誘発してしまいますのでご協力をお願いいたします。